

03 菩提寺のイチョウ



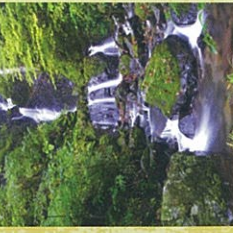
那岐山中腹にある山岳寺院、菩提寺の境内にあるイチョウで、岡山県を代表する巨樹。浄土宗の開祖・法然上人のお手植えとされており、国指定天然記念物で新日本名木100選にも選ばれている。(推定樹齢900年)

11 阿弥陀堂の大イチョウ



法然上人がこのイチョウの枝を杖にして菩提寺に登り、境内に挿したものが菩提寺のイチョウになったという伝説があり、地元では「親木」と言われている。平成25年に行ったDNA鑑定により、菩提寺のイチョウが分身であるという事が証明され、伝承の裏付けとなった。(推定樹齢1,000年)

12 屋敷の滝



馬桑川の源流にあり、水はとてども冷たく澄んでいる。戦国の武将・延原弾正の屋敷跡があったところから屋敷の滝と言われており、深い緑に囲まれた中を約40mの高さから落ちる。



神仏ポイント
Shinto and Buddhism

那岐山には山岳宗教とのかかわりで、修験道の行者たちが刻したとされる文字岩が残っています。

13 那岐山麓山の駅と山野草公園

奈義町の恵まれた自然を体感できる山の駅は、コテージなどを完備した体験型リゾートスポットで、地元の食材を活かした料理を楽しむレストランが人気。併設された山野草公園には那岐山麓遊歩道への入口があり、登山やトレッキングの拠点施設でもある。



14 現代美術館

建築家・磯崎新氏プロデュースのもと、作品と建築が一体となった空間的作品を常設している。美術館自体が那岐山麓の自然条件に基づいた軸線を持ち、喫茶室からは那岐山頂を望むことが出来る。